

提言 R 5

～子どもたちに豊かな学びを届けるために～

学校向け

令和4年12月

教職員の多忙化解消に向けた協議会

昨年度の提言 R 4 において、業務の在り方や学校行事等について、前例や慣例にとらわれることなく、教育的意義を踏まえながら廃止や縮小も含めて検討することが示され、その検証として令和4年10月～11月に県教委が実施した教職員の業務状況等調査では、学校等において改善が進められている業務や行事等が明らかになりました。

本調査結果を踏まえ、各学校において更に業務や行事等を見直す際の参考として、「廃止・縮小・ICT化」に取り組むべき業務や行事等について、以下の通り提言します。教職員が心身の健康を維持するとともに、子どもたちとしっかり向き合う時間を増加させることで教育の質を高め、豊かな学びを届けることを目指し、この提言を基にして、学校の実情に合わせた取組を、地域や関係者の理解を得ながら一層進めていただきますようお願いいたします。

「廃止」が可能な業務例

■ 定例的な家庭訪問

特に小・中・義務教育学校などで実施されている定例的な家庭訪問を廃止し、来校形式やオンラインでの面談に代えることで、教員・保護者双方の負担を軽減することができます。児童生徒の安全に関わることなど、必要な家庭訪問については、引き続き実施し、保護者との連携を深めることは大切です。

■ 夜間の電話対応

勤務時間外のうち、特に夜間については留守番電話や自動応答による対応とすることで、時間外の業務を削減し、退勤時間を早めることができます。なお、緊急性の低い連絡や報告などは学校・保護者双方が勤務時間内の連絡ができる体制づくりを心掛けるとともに、緊急時の連絡方法について教育委員会と検討をする必要があります。

■ 夏休みの水泳指導・プール開放

夏季の高温日が多くなった状況や家庭環境の変化を踏まえ、教育委員会と協議し、夏休み中のプール開放を見直すことで、児童の登下校にかかる安全確保・健康管理の面での保護者の負担や、水泳指導・プール管理にかかわる教職員の負担を軽減することができます。

「縮小」を推奨する業務例

■ 式典（卒業式・始業式など）

内容削減、来賓・招待者の精選などにより式典を簡略化することで、事前準備や当日の運営の負担を軽減することができます。

■ マラソン（持久走）大会

体育の授業中や校地内での実施などにより、道路使用許可申請や、安全確保にかかる教職員配置、保護者の動員など、大会の準備・運営の負担を軽減することができます。

■ 運動会・体育祭など

児童生徒の意欲や活躍場面を考慮し、競技種目の精選、練習時間の縮減、半日開催など工夫することで、児童生徒・教職員双方の負担を軽減することができます。

■ 業前活動※主に義務教育・清掃活動

業前活動の縮小や清掃日の限定など、学校の日課を工夫することで、放課後の事務作業や部活動の時間を増やすことができます。

■ 学校評価

評価に必要な内容を精選し、実施回数や評価項目を限定することで、経営の重点で明確にした学校運営の改善につなげることができます。また、ICTの活用も有効です。

■ 学習指導案

目的に応じて、必要な要素を簡潔に示す学習指導案形式にすることで指導のポイントを明確にし、作成にかかる負担を軽減することができます。

■ 授業時数（余剰時数の削減）※主に義務教育

年間の授業時数を適切に計算し、余剰となる時数の削減に努めることで、削減された時数を事務処理の時間や休暇取得の促進などに充てることができます。

■ その他

週休日や長期休業中・放課後などにおける補習対応の精選、学習発表会の内容精選などが考えられます。

「ICT化」を推奨する業務例

■ 児童生徒の欠席連絡(Google Formsなど)

朝の電話対応を縮減し、複数の職員が出欠の情報を瞬時に共有できることで、教職員が余裕をもって児童生徒を迎えることができます。保護者も自由な時間に連絡ができるメリットもあります。

■ 各種アンケート・意向調査

児童生徒向け・保護者向けともにアンケートフォームを活用した調査を行うことで、配布や回答、集計作業の時間削減を図ることができます。印刷や保管、廃棄にかかる費用や負担も軽減することができます。

■ その他

テストの作成や採点（フォームの活用）、検温や健康観察、学校からの通知や学年・学級通信の配布（Google Workspace など）などへの活用も有効です。

業務や行事等の廃止・縮小については、学校の実情や教育的意義を踏まえ、代替案の実施と合わせて検討をお願いします。

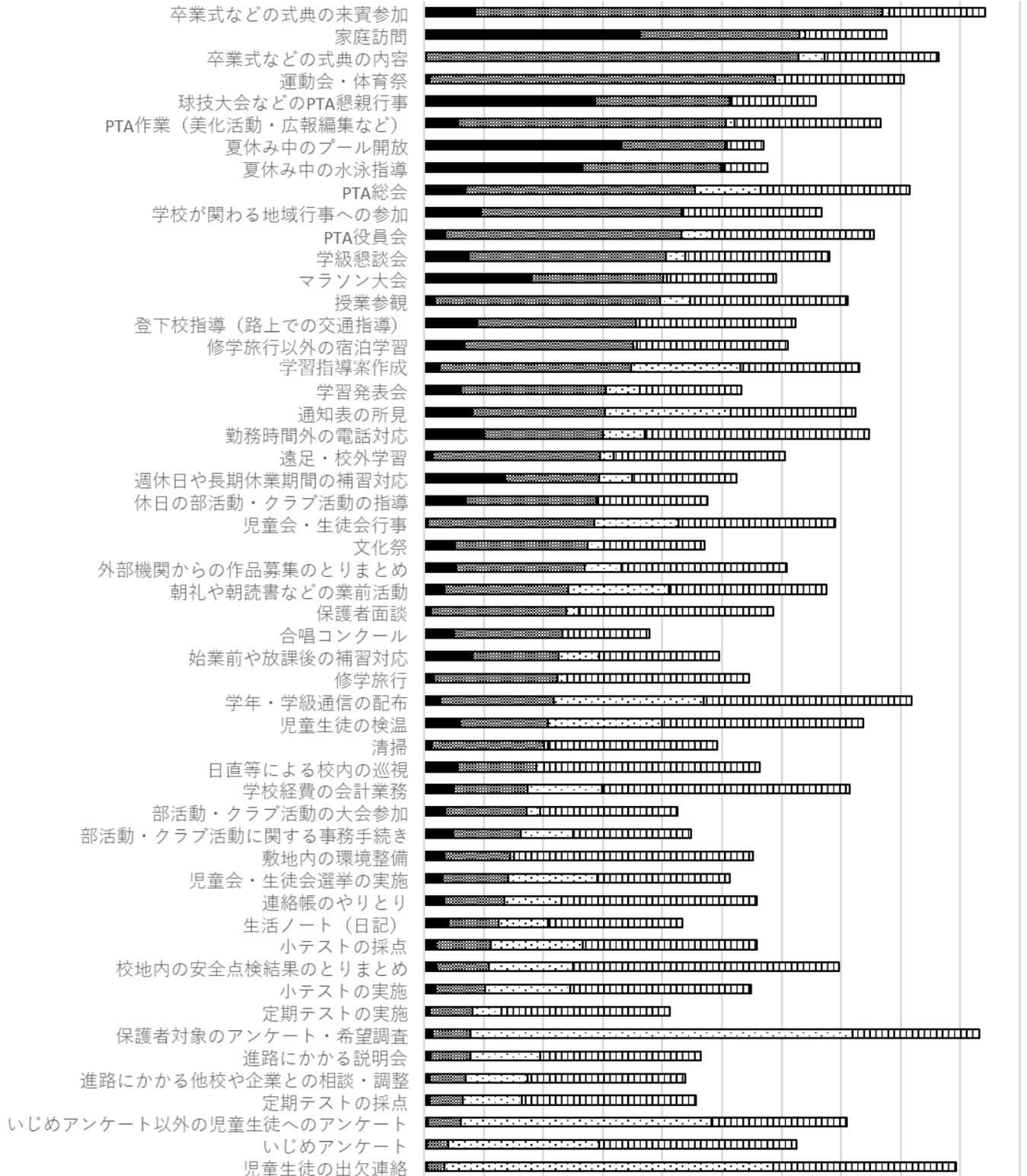
部活動運営（地域移行や教職員の負担軽減に向けた部活動運営）については、「群馬県部活動運営の在り方検討委員会」より令和5年2月に提言が発出される予定です。

業務状況等調査の結果について

令和4年10月～11月に「教職員の業務状況等調査（市町村・県立全ての校長と抽出校の教職員対象）」を行いました。本調査において、既に「各種業務の廃止・縮小・ICT化」を進めている業務や行事等、今後改善を推進していきたい業務や行事等について、回答が多かった業務を参考に、協議会として具体的に改善を進めていきたい業務として示しました。

回答総数 2,295

0 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1800 2000



■ 廃止 ■ 縮小 □ ICT化 □ 今後改善推進